○○議会　○○議長様　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和４年○○月○○日

請願者

住　所

電話

紹介議員

# 新型コロナ感染症の公的責任を強める請願書

## 請願趣旨

新型コロナウイルス感染が拡大しています。７月中旬からの日本の新規感染者数は世界最多と言われ、子どもにも高齢者にも広がり検査もできず、救急搬送も滞る最悪の事態が続いています。「自宅療養」も激増し、「食料品配布が間に合わない」状態ともなっています。当初、「感染は広がっても重症化しない」と言われていましたが、感染数が広がれば必ず重症者も増えます。それどころか「派生型のＢＡ・５は軽症ではすまない」という実態も明らかになってきました。日本の平均寿命もコロナ感染期で毎年度下がりはじめています。

しかし公的対応の方向は「医療・保健所がひっ迫しているので」と「感染全数把握中止」「感染症２類相当の５類への引き下げ」などに向かっています。これでは自己責任ばかりを求めるやり方となり、感染拡大の事態を深刻化させることになりかねません。つきましては下記の項目の意見書の提出を請願します。

## 請願項目

１、「感染全数把握」の簡便化の必要性を理由に、安易な見直しや中止ではいけません。感染症の危険性を充分に留意され、公衆衛生・医療、統計の確立と対策に向け、抜本的に公的責任を強め財政資力を駆使し、「自宅療養」の原則化をやめていただきたい。

２、「感染症２類相当から５類への引下げ」となると、原則公的負担から医療の社会保険適用となります。検査・入院・ワクチン接種・宿泊療養・自宅療養の食料品配布なども負担増です。このような自己責任に転嫁する方針は望ましくありません。

以上、地方自治法第９９条の規定により、意見書を提出するよう請願いたします。

## 提出先

内閣総理大臣　衆議院議長　参議院議長　厚生労働大臣　総務大臣

新型コロナ対策担当大臣